フィリップ モリス ジャパン

フィリップ モリス ジャパン

報道用資料



CONTENTS

●目次●

1 フィリップ モリス ジャパンの紹介

会社概要 …… p.4
PMJのビジョン …… p.5
数字で見るPMJ …… p.6
社長メッセージ …… p.7

2 「煙のない社会」の実現に向けて

「煙のない社会」のビジョン …… p.9
喫煙環境の整備 …… p.10
煙のないランドマーク …… p.11,12
B to Bの取組み …… p.13

3 フィリップ モリスの研究開発への取組み

たばこハーム・リダクション …… p.15,16
IQOSのリスク低減可能性の科学的実証 …… p.17
PMI研究施設の基本情報 …… p.18

4 たばこ規制環境について

米国食品医薬品局(FDA)へのMRTP申請 …… p.20
日本におけるたばこ規制環境 …… p.21

5 IQOS、加熱式たばこ製品について

IQOSの特長 …… p.23,24
IQOSの概要 …… p.25,26,27,28,29
たばこ製品との違い …… p.30
製品ラインアップ …… p.31,32,33,34
IQOSの販売場所・サポート …… p.35
IQOSの販売状況 …… p.36
KT&Gとの提携・製品について …… p.37

6 取材対象者の紹介

p.39, 40



1

フィリップ モリス ジャパンの紹介

会社概要

PMJのビジョン

数字で見るPMJ

社長メッセージ

会社概要

フィリップ モリス ジャパン 合同会社　Philip Morris Japan Limited（PMJ）

設　　立	1985年
代 表 者	シェリー・ゴー（Shea Lih Goh）社長
従 業 員	約1,600名
ブランド	加熱式たばこデバイス： IQOS（アイコス） 加熱式たばこ：TEREA（テリア）、SENTIA（センティア）、Marlboro（マールボロ）、HEETS（ヒーツ） 紙巻たばこ：Marlboro（マールボロ）、Lark（ラーク）、Parliament（パーラメント）、Virginia S.（バージニア・エス）
国内たばこ市場シェア	37.6% ※2022年12月末時点

フィリップ モリス ジャパン合同会社は、フィリップ モリス インターナショナルの日本における子会社で、日本で販売されるフィリップ モリス社製品のマーケティング・販売促進活動を行っています。

フィリップ モリス インターナショナル　Philip Morris International Inc.（PMI）

設　　立	1847年 英国でフィリップ モリス社として設立
本社所在地	米国・ニューヨーク市
統括本部	スイス・ローザンヌ
代 表 者	ヤチェック・オルザック（Jacek Olczak）CEO
従 業 員	69,600名
ビジネスを展開しているマーケット	約180市場（製造工場拠点：39か所）

フィリップ モリス インターナショナルは、世界の紙巻たばこ上位15ブランドのうち、全世界で売上No.1を誇るマールボロ（米国と中国を除く）を含む5銘柄のブランドを有しており、世界の約180市場で製品を販売しています。

PMJのビジョン

煙のない社会を、ここ日本で

フィリップ モリス ジャパンのビジョン

私たちのビジョンは、紙巻たばこすべてを煙の出ない製品に切替えていくことです。
紙巻たばこの20歳以上の喫煙者の多くが喫煙の満足感を得られる害の少ない製品を求めています。
そこで、私たちは喫煙を続ける人々に新たな選択肢を提供していきたいと考えています。
そして、社会が私たちに期待することは、たばこの煙のない社会の実現です。
当社では、社員一丸となって、煙を出さずに楽しむことができる革新的な製品を開発してきました。
すでに世界中で1,780万人以上※の方々に紙巻たばこから、
この革新的な製品に切替えていただいています。
当社が想い描く将来を象徴する製品を育てていくために、
今後も私たちは研究開発に投資していきます。
時代が大きく変化していく中、私たちは流れに身をゆだねるのではなく、
私たちは、会社の新しい方向性を打ち出し、大きな一歩を踏み出しました。
紙巻たばこビジネスの成功を糧に、この大胆なビジョンを追求してまいります。





フィリップ モリス ジャパンについて

フィリップ モリス ジャパンは、米国を除く世界各国でたばこ事業を展開する世界屈指のたばこ会社であるフィリップ モリス インターナショナルの日本法人です。加熱式たばこ「IQOS（アイコス）」「IQOS ILUMA（アイコス イルマ）」をはじめ、マールボロ、ラーク、パーラメント、バージニア・エスといった、フィリップ モリス社製品のマーケティングおよび販売促進活動を行っています。当社は1985年に日本で事業を開始して以来、着実に成長を遂げ、今日では全国に1,600名の従業員を擁し、日本のたばこ市場で37.6%のシェア※を有する日本第2位のたばこ会社となっています。当社は「煙のない（スモークフリー）社会を、ここ日本で」の実現をビジョンとして掲げ、変革を推進しています。

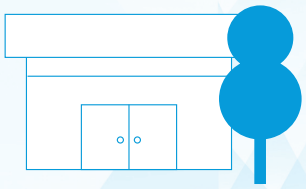
※2022年12月末時点

数字で見るPMJ

• IQOSストア •

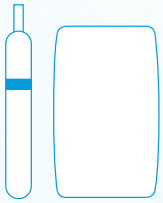
8

所在地：札幌、東京、
名古屋、大阪、広島、福岡



• IQOSユーザー数 •

750 万人



※ PMI2022 年決算資料に掲載の2022年12月末時点での数値。PMI 財務資料／試算 IQOS ユーザーパネル当社市場調査に基づく

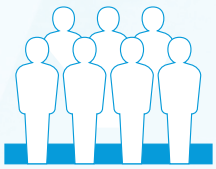
• 従業員の国籍数 •

35



• 全従業員 •

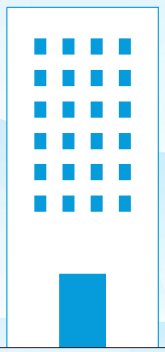
1,600人



（うち約1,000人が現場営業に従事）※ 2023年3月時点

• オフィス •

2



所在地：
東京（本社）、大阪
※ 2022年3月時点

• リサイクル拠点 •

2



社長メッセージ

「煙のない社会」の実現に向けて

私たちのビジョンは、いつの日か煙の出ない製品が紙巻たばこに取って代わることです。

害ある紙巻たばこの煙を発生させない。煙の出ない製品を開発することで、一日も早く、数万人規模の 20歳以上の喫煙者をこれらの製品に切替えることを目指しています。私たちの旅は 2014年、IQOSを初めて日本市場に導入したときから始まり、今日では、日本で約 750万人のユーザー※ がいます。禁煙に代わる代替はありませんが、20歳以上の喫煙者に満足感のある、より良い選択肢を提供することは公衆衛生上、大きな意義があると考えています。「煙のない社会」を目指して変革を推進するうえで、次の事業の柱としています。

※ IQOSユーザーとは、過去7日間でIQOS専用たばこスティックを少なくとも5%、日常的に消費している20歳以上の喫煙者（2022年12月末時点）

最高品質の製品とカスタマーケアプログラムを提供すること

多様化するお客様ニーズに応えるべく、私たちは最高の製品とサービスを提供し続けます。IQOSを市場に導入したことで、私たちの会社にとって画期的な新時代を切り拓きました。IQOSデバイスを最新モデルへ進化させるとともに、多くの味わい・ラインアップを提供することで様々なお客様の需要に対応しています。私たちの目標は、お客様にとって長期的な価値を創造し、常に進化するカスタマーケアプログラムを通じて、IQOSへの切替え体験ができる限りスムーズであるよう努めることです。

インクルージョンとダイバーシティの推進

私たちの事業変革のコアとなる人材がさらに活躍できる環境、つまりインクルーシブな企業文化の醸成と人材の多様化を進めていきます。公正公平な機会、そして他者を尊重する精神をもって、すべての社員が最高のパフォーマンスを発揮できる多種多様な職場環境を構築していきます。

社会との対話の継続

私たちは、信頼性と責任を基盤として事業を推進していきます。社会的役割とニーズを理解し、政策決定者や多くのステークホルダーと科学に基づいた対話を進めています。ハーム・リダクションの概念を公衆衛生政策の重要な要素と捉え、紙巻たばこを喫煙し続けることより、より良い選択肢への切替えを促すような規制と税制を支持しています。

私たちのビジョンに後押しされる形で、IQOSは私たちの事業を牽引し続け、またハーム・リダクション概念への理解が深まっています。野心的な目標ではありますが、私たちのコミットメントは強固であり、フィリップ モリス ジャパンを支える才能豊かな人材が、「煙のない社会」の実現に向けて、あらゆる困難にも打ち勝っていけると確信しています。



フィリップ モリス ジャパン合同会社 社長
シェリー・ゴー

2

「煙のない社会」実現に向けて

「煙のない社会」のビジョン

喫煙環境の整備

煙のないランドマーク

BtoBの取組み

「煙のない社会」実現に向けて

PMJは日本国内のすべてのステークホルダーと協力して、従来の紙巻たばこをより良い代替品で切替えていくことを表明しています。私たちが目指すのは、健康へのリスクを低減する加熱式たばこ製品の開発によって業界のリーダー&パイオニアとなり、たばこの煙のない日本を作り上げていくことです。

スタジアム、カフェ、世界遺産、オフィスなど、消費者との接点となる数多くの場所を、たばこの煙のない場所にして加熱式たばこの愛用者が指定された適切な場所で加熱式たばこ製品を楽しめるよう、支援しています。

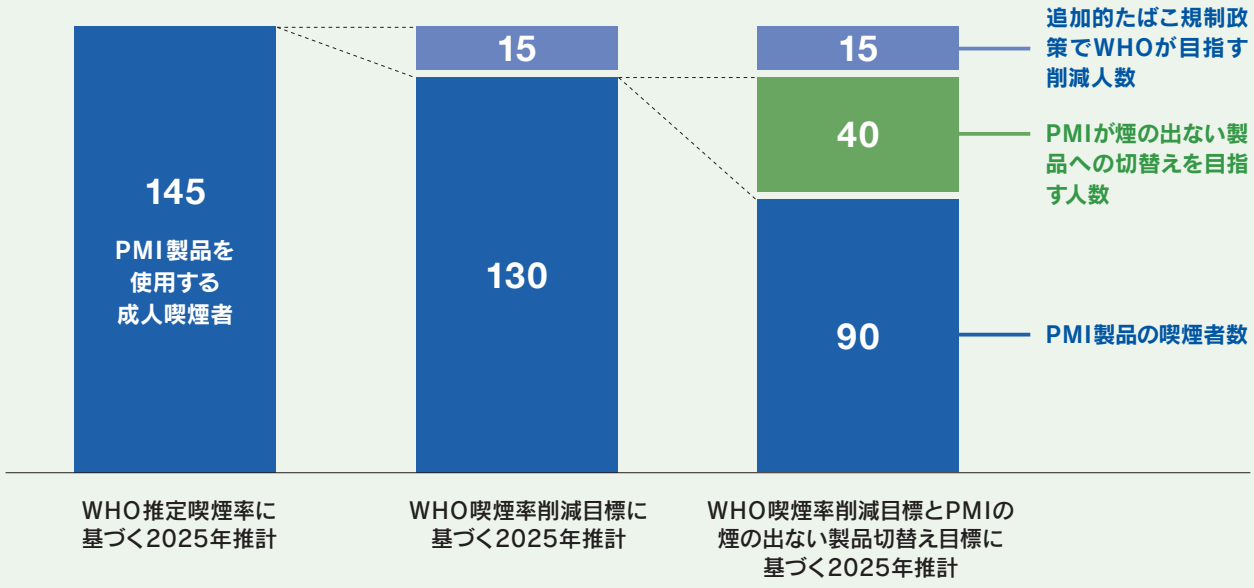
PMIは会社の将来を煙の出ない製品に託し、最終的に紙巻たばこ事業から撤退することを公に表明した唯一のたばこ会社であり、煙のない社会の実現に向けてその姿勢を示しています。

煙の出ない製品へのアクセス

煙の出ない製品の開発、これは最初のステップにすぎません。次の大きなステップは、成人喫煙者の煙の出ない製品への切替えを促すことです。PMIはこれまで5年以上かけて、煙の出ない製品の生産能力を拡大してきました。人材やその他の資源もこうした製品にシフトし、紙巻たばこの販売モデルから、より消費者中心の営業手法に転換しています。

私たちは、2025年までに全世界で少なくとも4,000万人の紙巻たばこ喫煙者がPMIの煙の出ない製品に切替え、PMIの紙巻たばこの喫煙者を5,500万人減らすことを目指しています。この目標は、世界保健機関(WHO)の予測に基づいて作成しています。同予測を基に計算すると、2025年までにPMIの製品を購入する喫煙者は1億4,500万人に上る見込みです。WHOは、増税などの従来型喫煙規制手段を強化することによって、喫煙率のさらなる低減を目指しています。WHOの2025年目標値をPMIの消費者ベースに当てはめると、2025年までにPMI製品の喫煙者は1,500万人減り、1億3,000万人になる予測です。私たちの戦略はこのWHOの取組みを補完するものです。

PMI製品使用者：2025年推計（PMIの市場シェアが変わらない場合）
（単位：百万人）



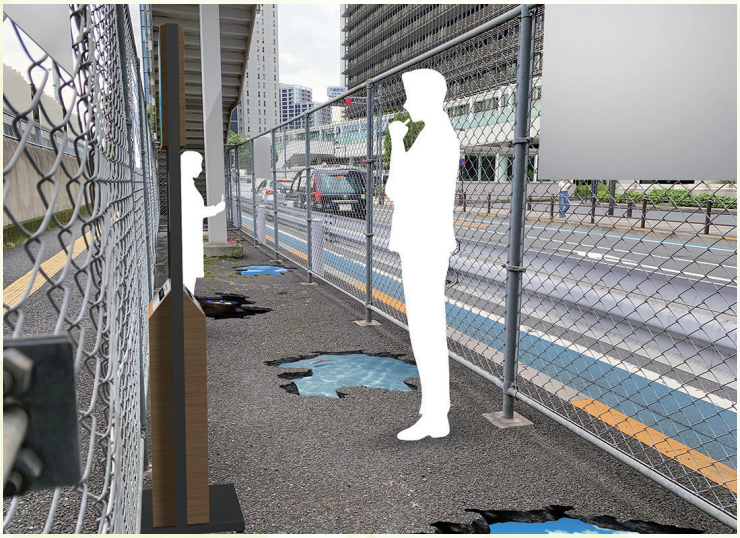
喫煙環境の整備

加熱式たばこ専用エリアの取組み

2020年4月に全面施行された改正健康増進法を受けて、日本各地で受動喫煙の防止を強化する動きが見られます。当社は、公共の場所での喫煙を規制することは適切な措置であると考えています。
また、火を使わず煙の出ない加熱式たばこに関して、当社は、健康リスク低減に関する科学的根拠を踏まえて、紙巻たばことは違うルールづくりを支持します。すでに、改正健康増進法、たばこ税制、注意文言、火災予防に関する規制の適用および安全対策に関する議論において、紙巻たばこと異なる、加熱式たばことしての取り扱いをされ始めています。
当社では、多くのステークホルダーと科学的根拠に基づいた対話を進めており、特に喫煙環境についての助言を必要としている事業主様や施設管理権原者様に、加熱式たばこを活用した環境整備を提案していきます。

大崎駅西口
「トリックアートを使用した加熱式たばこ専用エリア」

品川区は、2020年8月11日より大崎駅西口に加熱式たばこ専用のスペースを導入し、試験的運用を開始しました。受動喫煙防止対策としてたばこの煙やにおい等が極めて少ない加熱式たばこ専用とし、また、新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、トリックアートを活用し利用者が自然に距離を保つことができるよう工夫しています。喫煙所でのトリックアートを活用したソーシャルディスタンスの確保は、全国初の試みとなります。



カフェ・カラオケチェーンとの取組み

改正健康増進法の全面施行によって、飲食店も原則として全面禁煙となりました。加熱式たばこは飲食店でも技術的要件を満たした場所であれば、使用が認められています。PMJは大手カフェチェーンやカラオケチェーン14社※（イタリアントマト、上島珈琲店、ウェンディーズ・ファーストキッチン、エクセルシオールカフェ、快活クラブ、銀座ルノアール、コート・ダジュール、自遊空間、ジョイサウンド、ドトールコーヒーショップ、カラオケ ビッグエコー、プロントなど）をはじめ、多くの企業様のご賛同、ご協力を得て、全国約2,000か所の加熱式たばこユーザーのための喫煙環境作りを整備しています。

※五十音順 ※2023年3月時点

※五十音順

煙のないランドマーク

ZOZOマリンスタジアム
（2019年7月26日～）

千葉ロッテマリーンズがホームスタジアムとするZOZOマリンスタジアムは、PMJの協力のもと、2019年7月26日より球場内のすべての喫煙所が加熱式たばこ専用エリアとなる「煙のないスタジアム」に生まれ変わりました。改正健康増進法や美しく快適で安心な街づくりを目指す千葉市独自の受動喫煙防止条例のもと、利用者がより快適に楽しい時間を過ごせるクリーンなスタジアムを目指しています。



南紀白浜空港
（2020年4月1日～）

南紀白浜空港はPMJの協力のもと、2020年4月1日より、南紀白浜空港ビル施設内すべての喫煙所を加熱式たばこ専用喫煙室として新たに整備し、日本初の「煙のない空港」に生まれ変わりました。今回一新した加熱式たばこ専用喫煙室には、空港利用者の皆様にビーチや温泉など多くの観光資源を有する南紀白浜の魅力を伝える内装デザインを取り入れています。



平泉町
（2021年7月1日～）

岩手県南西部に位置する平泉町は、平安時代末期に大都市として栄えた、中尊寺や毛越寺などの史跡で知られる町です。これらの史跡が世界遺産登録されてから10年目となる2021年、PMJは「たばこの煙のない平泉町を目指す」協定書を同町と締結しました。
史跡だけでなく、紙巻たばこの喫煙も可であった従来型の喫煙所を擁するコンビニエンスストア3店舗における喫煙所撤去や加熱式たばこ専用エリア整備など、紙巻たばこの煙による望まない受動喫煙を防止し、町全体を火災のリスクから守り、より快適で安全に過ごせる環境を整備します。



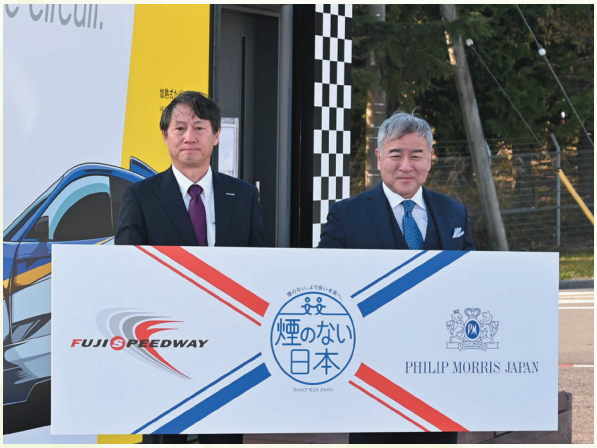
煙のないランドマーク

TIPSTAR DOME CHIBA
（2021年11月13日～）



国内外のトップクラスの自転車競技選手による激闘の場にふさわしい、スポーツ性とエンターテイメント性を兼ね備えた自転車競技用ドーム「TIPSTAR DOME CHIBA」は、PMJの協力のもと「煙のない自転車競技用ドーム」として始動しました。
関係者用を含む4か所の加熱式たばこ専用室が新設され、施設内での燃焼をともなう紙巻たばこの使用は禁止となります。PMJの協力で加熱式たばこのみの使用を許可する大規模施設＝「煙のないランドマーク」の中では、自転車競技用施設としてはこの「TIPSTAR DOME CHIBA」が初となります。

富士スピードウェイ
（2021年11月26日～）



富士スピードウェイは、様々なレースやイベントを通じて多くのお客様が来場する、世界でもトップクラスのモーターサーキットです。喫煙課題に取組み、より多くのお客様にモータースポーツを楽しんでいただくため、同施設内に関係者用を含む20か所の加熱式たばこ専用室・エリアを新設し、世界初の「煙のないサーキット」へと生まれ変わりました。
新設された加熱式たばこ専用室・エリアは、外装には「インタープロトシリーズ」のレースで実際に使用された車両のデザインを施したほか、内装には、バケットシートをはじめ、実際のレースで走行した車の部品を展示し、まるでガレージの中にいるような体験を演出するなど、レースサーキットならではの工夫を凝らしています。

山形蔵王温泉スキー場
（2021年12月16日～）



世界に誇る樹氷の造形美と、蔵王連峰を見渡す絶景の大パノラマが魅力のマウンテンリゾート 山形蔵王温泉スキー場は、施設内で紙巻たばこの喫煙が認められていた喫煙所すべてを加熱式たばこ専用室・エリアに整備することで「煙のないマウンテンリゾート」へと一新しました。
山形蔵王温泉スキー場エリアに加熱式たばこ専用室8か所、タウンエリアに2か所を新設。蔵王ならではの風景である樹氷が美しいエリアには、自然と調和する木目調のパーテーションを起用。壮大な景色が広がる場所にはガラス張りのブースをつくり、利用者の方も風景を楽しめるように工夫しました。

BtoBの取組み

煙のないオフィス環境へ

企業の抱える喫煙課題は、においの問題や、社員の健康問題、喫煙所の問題など、企業によって様々です。当社は、たばこメーカーとしての知見や経験を活かし、企業の喫煙課題解決にむけて、最適なソリューションを提案しサポートしています。
当社が2020年9月に独自で行った調査によると、すでに非喫煙者の受動喫煙対策に取組んでいると答えた人事・総務ご担当者様は、全体の55%でした。また、喫煙を課題と感じている割合が全体の67.1%と、多くの企業が喫煙を課題と感じ、喫煙対策への取組みが始まっています。

● 参考URL ▶ 当社ウェブサイト「企業の喫煙環境」▶ https://www.pmi.com/markets/japan/ja/business-solutions/approach

社員の健康増進と企業の収益向上を、加熱式たばこへの切替えで同時に実現

フジトランスポート株式会社

北海道と沖縄を除く全国各地に拠点を構え、日本のロジスティクスを牽引しているフジトランスポート株式会社では、トラックドライバーを含む従業員の高い喫煙率が車内のにおいや健康リスク、企業イメージ悪化につながっていました。加熱式たばこへの切替えを推進するため、福利厚生として加熱式たばこの初期購入費用を一部会社で負担することで、従業員の健康増進を図りました。また、加熱式たばこへの切替え推進により、たばこのにおいや汚れがつかなくなるため、3年~10年で売却するトラック車両の売却額向上や社宅の壁紙張替え費用削減など、社員の健康増進だけでなく、コスト削減にも寄与しています。



職場環境改善とお客様に愛される店づくりのため、加熱式たばこを導入

株式会社コスモス薬品様

「ディスカウントドラッグコスモス」を全国展開する株式会社コスモス薬品では、店舗を拡大し順調に成長を続ける中で、本社の喫煙マナーとリフレッシュルーム（喫煙室）の在り方について課題を抱えていました。禁煙の呼びかけや喫煙タイムの設定など色々試したものの、リフレッシュルームから漏れる煙とにおいに苦慮していました。そこで、PMJとの協働で喫煙する社員に対し加熱式たばこへの切替えを推奨し、リフレッシュルームを加熱式たばこ専用ルームにリニューアルしたところ、この問題は大幅に解消されました。本社での取組みは、全国の各店舗にも広がっています。



総務部長　小坂様（取材当時）

3

フィリップ モリスの研究開発への取組み

たばこハーム・リダクション

IQOSのリスク低減可能性の科学的実証

PMI研究施設の基本情報

たばこハーム・リダクション

喫煙は、肺がん、COPD(慢性閉塞性肺疾患)、CVD(心血管疾患)など重大な疾患を引き起こします。同時に、喫煙率は多くの国で低下しているものの、依然として多くの成人が現在も喫煙を続けています。こうした中で、PMIは、紙巻たばこの喫煙を続ける成人喫煙者に対して、紙巻たばこよりも喫煙関連疾患を引き起こすリスクが低く、かつ成人喫煙者に満足してもらえる代替品を提供したいと考えています。
喫煙よりリスクの少ない選択肢を提供することで、たばこによる社会全体への悪影響(害)を低減するという考え方を「たばこハーム・リダクション」と呼びます。



ハーム・リダクションとは、害を及ぼす行為そのものの阻止ではなく、そこで引き起こされる害の低減を目的とした考え方です。成人喫煙者に対し、紙巻たばこの喫煙より健康リスクの低い可能性がある新たな選択肢を提供することは、私たちが目指す「たばこハーム・リダクション」の基本を成しています。

紙巻たばこを燃焼させると6,000種類以上の化学物質が含まれるとされ、そのうちの1%が有害と考えられており、当社は、燃焼をなくすことこそ喫煙関連疾患にかかるリスクの低減につながる最も有望な手段だと考えています。また、成人喫煙者の様々な嗜好に合うように、多様な製品を用意することも重要です。

PMI は現在、煙の出ない製品群として3つのカテゴリーを持ち、研究開発に取組んでいます。1つ目はたばこ葉を燃焼ではなく加熱するもの、2つ目はたばこ葉を使用しないもの、そして3つ目は経口ニコチン製品です。各製品タイプは開発・評価の様々な段階にありますが、どれもリスクを低減しつつ成人喫煙者にとって魅力的な製品となることを目指して開発を進めています。紙巻たばこの代替品となり、リスク低減の可能性がある製品は、禁煙促進などに焦点を当てた政策を補う重要な公衆衛生ツールとして、徐々に認知が広がっています。

たばこハーム・リダクション

肺がんなど喫煙関連疾患の主な原因は、ニコチンではなく※、紙巻たばこが燃焼することで発生する煙に含まれる「有害性成分」だと考えられています。燃焼をなくすことで紙巻たばこに比べて有害性成分の発生を低減させ、リスクを低減することができます。

※ ニコチンには依存性があり、リスクフリーではありませんが、喫煙関連疾患の主たる原因ではないというのが、専門家の一致した見解です。
（例：英国王立内科医協会、英国国立医療技術評価機構）

リスクを低減する可能性のある製品

PMIは、リスクを低減する可能性のある製品（RRP）として、3つのカテゴリを用意しています。

- ▶ たばこ葉を燃やさず加熱する「加熱式たばこ」
- ▶ たばこ葉を使用せず、ニコチンを摂取する「eベイパー製品」
- ▶ たばこ葉を含まない「経口ニコチン製品」

日本で販売されているIQOSはそのうちの一つです。

加熱式たばこ		eベイパー製品		経口ニコチン製品
プラットフォーム 1	プラットフォーム 2	プラットフォーム 3	プラットフォーム 4	プラットフォーム 5
				
電気加熱式たばこ製品	炭素加熱式たばこ製品	たばこ葉を使用せずにニコチンを含むベイパー（蒸気）を発生させる製品		たばこ葉を含まない経口ニコチン製品

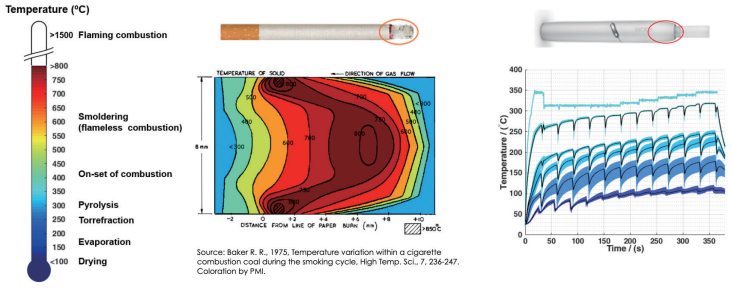
※ RRP（リスクを低減する可能性のある製品）は、紙巻たばこの喫煙を継続した場合と比較して、同製品に切替えた成人喫煙者にとって害のリスクが少なくなるか、少なくなることが見込まれるか、または少なくなる可能性のある製品を指すものとして私たちが使用している言葉です。私たちのもとには、開発、科学的評価、市販化といった異なる段階にある様々なRRPが存在します。私たちのRRPはたばこ葉を燃やさないので、紙巻たばこの煙に含まれる量と比較して、発生する有害および有害性成分ははるかに少なくなっています。

IQOSのリスク低減可能性の科学的実証

PMIは、紙巻たばこからIQOSに切替えることで、喫煙関連疾患を引き起こすリスクが低減するかどうかを実証するために、広範囲な科学的研究を続けています。

正確に加熱温度を制御する加熱式たばこ

通常の紙巻たばこに火をつけると、燃焼温度は800度以上になります。この燃焼による高温で、多くの化学反応が生じ、有害性成分を含む数多くの化学物質が発生します。IQOSは、たばこ葉を燃やさず加熱し、加熱されたたばこ葉の温度は300度以下です。このような低い温度では多くの化学反応が起こらず、発生するたばこベイパー（蒸気）に含まれる有害性成分の量は、紙巻たばこの煙と比べて大幅に少なくなります。



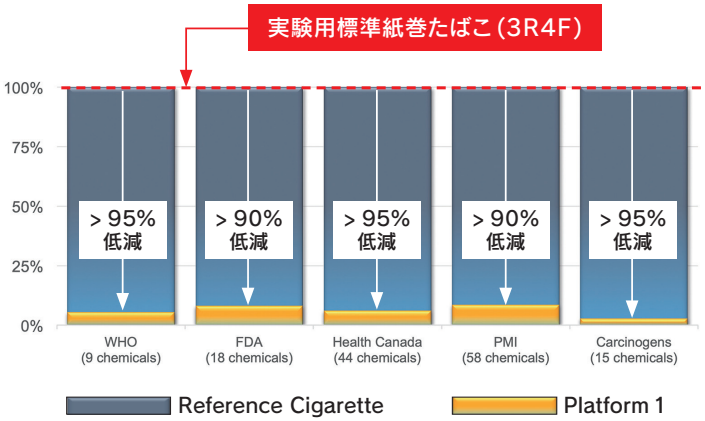
Source: Baker R. R., 1975, Temperature variation within a cigarette combustion coal during the smoking cycle, High Temp. Sci., 7, 236-247. Coloration by PMI.

有害性成分の測定 ― 紙巻たばこの煙との比較

紙巻たばこの煙とIQOSから発生するたばこベイパー（蒸気）の化学的分析を実施したところ、紙巻たばこの煙と比較して、IQOSから発生するたばこベイパー（蒸気）に含まれる有害性成分の量が、平均して約95%低減されていることが分かりました。

実験用紙巻たばこの煙に含まれるレベルとの比較における
IQOSエアロゾルに含まれる有害および有害性成分の量の平均低減率

実験用標準紙巻たばこを100とした場合の割合



PMI研究施設の基本情報

- **105億米ドル以上の研究開発投資** ※1
- **980人以上の研究者を採用** ※2
- **煙の出ない製品への投資額は研究開発投資全体の99%** ※2

PMIは、RRP=Risk-Reduced Product（リスクを低減する可能性のある製品）の研究開発費として、2008年以降105億米ドル以上※1の投資を行っています。2021年の投資額は、6年前の70%に比べ、研究開発投資全体の99%を煙の出ない製品が占めています。※2

研究開発拠点として、スイス・ヌーシャテルの「Cube（キューブ）」とシンガポールの「PMI Research Laboratories」を設置し、世界で980人以上の科学者、エンジニア、技術者、サポートスタッフが研究開発職として従事しています。生物学、物理学、電子工学、統計学、臨床科学、システム毒性学など幅広い科学的・工学的専門分野に精通した科学者と技術者が、多様な国々から集まっています。研究成果は、約450の研究論文（章立て単位のものも含む）として査読付科学雑誌へ公表し、専門家や規制当局に公開しています。

また、煙の出ない製品関連における1,700件以上の特許を取得しています。

※1　2022年第4四半期決算資料（2023年2月9日発表）
※2　Philip Morris International – Integrated Report 2021

PMIの研究開発施設



「Cube」（スイス・ヌーシャテル）



「Cube」内観

4

たばこ規制環境について

米国食品医薬品局（FDA）への MRTP 申請

日本におけるたばこ規制環境

米国食品医薬品局(FDA)へのMRTP申請

米国食品医薬品局(FDA)、IQOSを「曝露低減たばこ製品」として許可

2020年7月7日、米国食品医薬品局（U.S. Food & Drug Administration; 以下FDA）は、PMIが提出した科学的検証データの審査を完了し、IQOSの「リスク修飾(軽減)たばこ製品申請（MRTP)」について「曝露（ばくろ)低減たばこ製品」として米国で販売することを許可しました。

IQOSは、同申請を通じて「曝露低減たばこ製品」として米国で販売を許可された、最初で唯一の電気加熱式たばこ製品です。
今回のFDAの決定により、以下の対消費者コミュニケーションを付した形でIQOSを米国で販売することが可能となりました。

- **IQOSはたばこ葉を燃やさず加熱する**
- **これにより、発生する有害および有害性成分の量が大幅に低減する**
- **科学的研究の結果、従来の紙巻たばこからIQOSに完全に切替えることで、成人喫煙者の体内での有害および有害性成分への曝露が低減する**

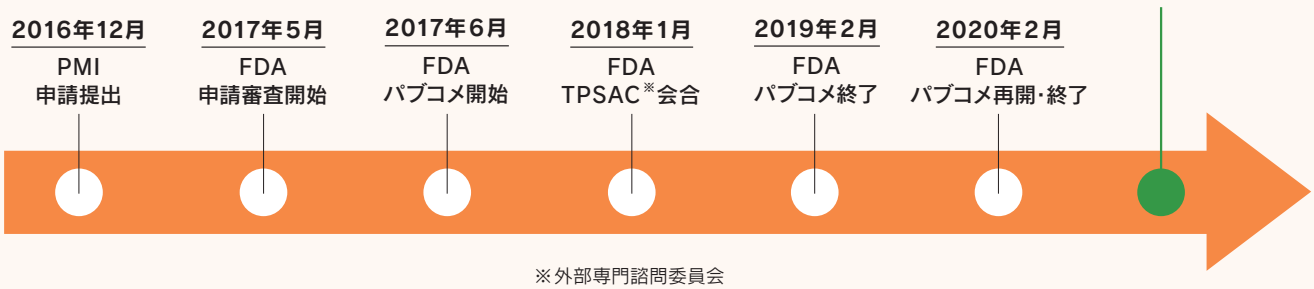
曝露低減とは、「紙巻たばこ喫煙と比較して、製品を使用する成人喫煙者の体内で吸収される有害および有害性成分の数と量が低減している」ことを意味します。FDAは、PMIが申請において提出した科学的検証データでは、現時点では「リスク低減」までは裏付けられていないが、「曝露低減」は裏付けられていると判断し、今回の決定がなされました。
今回のFDAの決定は、IQOSは紙巻たばことは根本的に異なるたばこ製品であり、喫煙を続ける成人喫煙者にとってより良い選択肢であることを示すものです。

米国食品医薬品局(FDA)とは

- FDAは、米国において、すべてのたばこ製品の製造や販売、流通の規制を行う米国の政府機関です。
- 米国は、たばこ規制の法的枠組みにおいて、「リスク修飾(軽減)たばこ製品(MRTP)」というカテゴリーを有する、世界で唯一の国です。
- リスク低減あるいは曝露低減に関する対消費者コミュニケーションを表示する場合には申請が必要となり、広範囲な科学的データに基づき厳格な審査が行われます。

IQOS申請の経緯

申請は、IQOSデバイスおよび3種類のヒートスティック（マールボロ・ヒートスティック、マールボロ・スムース・メンソール・ヒートスティック、マールボロ・フレッシュメンソール・ヒートスティック）についておこなわれました。



※外部専門諮問委員会

日本におけるたばこ規制環境

改正健康増進法の施行（2020年4月～）

2020年4月に全面施行された改正健康増進法は、望まない受動喫煙の防止を図るため、多くの方が利用する施設の区分に応じ、施設の一定の場所を除き喫煙を禁止するとともに、管理権原者の方が講ずべき措置等について定めたものです。これにより、多くの人が利用するすべての施設が原則屋内禁煙となり、喫煙を認める場合は各種喫煙室の設置が必要となりました。
PMJは新たな社会的要請に即した喫煙所を整備するとともに、たばこの煙のないよりクリーンな環境を整備するため、加熱式たばこ専用喫煙室の設置を推進しています。
（PMJの取組み紹介はP.10へ）



たばこ製品への「注意文言」表示

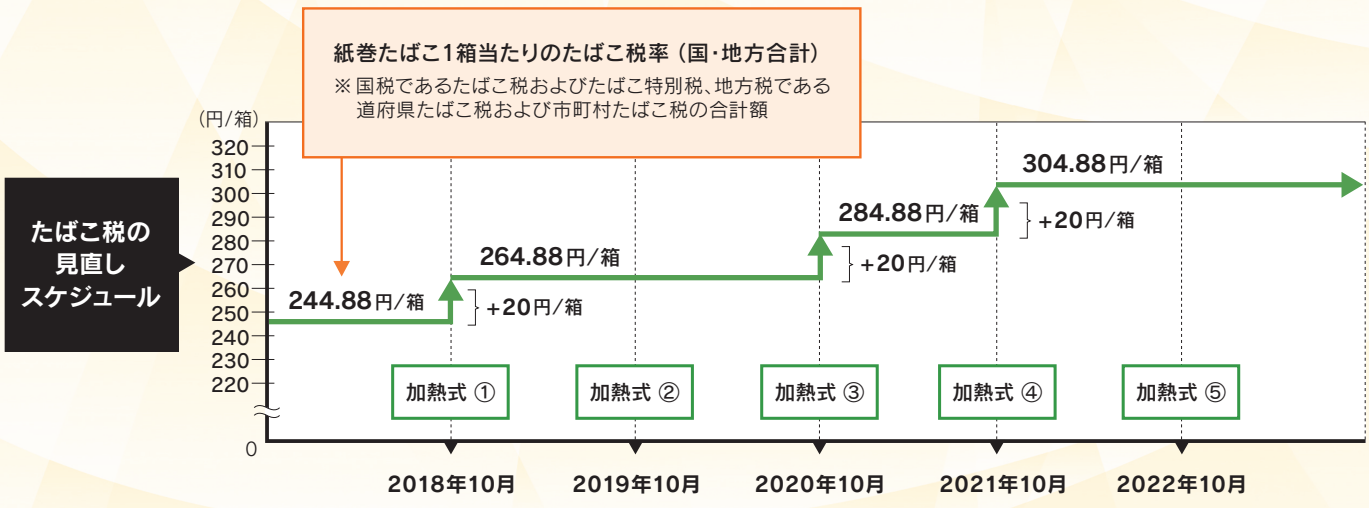
「たばこ事業法施行規則の一部を改正する省令（財務省令第4号）」（令和元年6月14日公布、施行）により「注意文言」等の内容や表示方法が変更されました。この改正により、加熱式たばこに関する注意文言が新設され、タール量およびニコチン量を表示する場合の注意文言表示が義務付けられました。また、注意文言の表示面積は、従来の主要面の30%以上から50%以上に拡大されています。



※参考URL：財務省 財政制度等審議会 たばこ事業等分科会（答申・報告書等）
https://www.mof.go.jp/about_mof/councils/fiscal_system_council/sub-of_tabacco/report/index.html

加熱式たばこに係る課税区分の新設（2018年～）

2018年から2022年にかけて、加熱式たばこの税区分が段階的に導入されています。この新区分は、加熱式たばこを紙巻たばこと区別し、加熱式たばこの課税標準について従来の「重量」のみの計算方式を見直し、「重量」および「小売定価」をもとに紙巻たばこの本数に換算による課税方式が導入されています。この新しい税区分は、安定的な税収を確保しながら競合製品間の税額負担の差を最小化することを目的としています。



5

IQOS、加熱式たばこ製品について

IQOSの特長

IQOSの概要

たばこ製品との違い

製品ラインアップ

IQOSの販売場所・サポート

IQOSの販売状況

KT&Gとの提携・製品について

IQOSの特長

IQOSとは

2014年、当社初となるRRP※1「IQOS(アイコス)」を名古屋とミラノで先行発売しました。日本においては、2015年に販売エリアを12都道府県に拡大し、その後2016年に全国展開での販売を開始しました。そして2018年から連続使用を可能にした「IQOS 3」シリーズ※2を展開、2021年にはスマートコア・インダクション・システム®搭載のブレードがない構造の「IQOS ILUMA(イルマ)」が登場し、ラインアップを拡大しています。現在、IQOS専用たばこスティック「マールボロ ヒートスティック」および「HEETS(ヒーツ)」※3、IQOS ILUMA専用たばこスティック「TEREA(テリア)」「SENTIA(センティア)」の4ブランドをあわせて販売しています。電子/加熱式たばこ、その他たばこの代替製品は消費財の新しい分野で、先導する当社は最先端の製品開発力と科学的実証を通して、20歳以上の喫煙者の嗜好と規制を満たす製品ポートフォリオの構築を目指しています。



IQOS ILUMA PRIME
(イルマ プライム)



IQOS 3

※1 RRP(リスクを低減する可能性のある製品)は、紙巻たばこの喫煙を継続した場合と比較して、同製品に切替えた20歳以上の喫煙者にとって害のリスクが少なくなるか、少なくなることが見込まれるか、または少なくなる可能性のある製品を指すものとして私たちが使用している言葉です。私たちのもとには、開発、科学的評価、市販化といった異なる段階にある様々なRRPが存在します。私たちのRRPはたばこ葉を燃やさないので、紙巻たばこの煙に含まれる量と比較して、発生する有害および有害性成分ははるかに少なくなっています。

※2 日本においては、販売を終了しています。

※3 ブレード型IQOS専用たばこスティック「マールボロ」および「ヒーツ」については販売を段階的に終了し、2024年1月を目途に、すべてのブレード型IQOS専用たばこスティックの在庫がなくなり次第、終了させていただきます。

たばこ葉を燃やさずに加熱する次世代のたばこ

IQOSは、たばこ葉を燃やすのではなく直接加熱することで、紙巻たばこの嫌な部分をできる限りなくしつつ、たばこ葉が持つ本来の味わいと香りを引き出します。周囲の方々を気遣いながらクリーンな形でたばこを楽しみたいという20歳以上の喫煙者向けの、紙巻たばこの代替となる製品です。



IQOS イルマ プライム / ホルダー



IQOS 3 / ホルダー

IQOSは、IQOS専用に開発されたたばこスティックに含まれるたばこ葉を、燃やさずに最適な温度で加熱し、ニコチンを含む風味豊かな「たばこベイパー(蒸気)※」を発生させます。IQOSは、火を使わないので、消し忘れややけどの心配がなく、燃やさないので灰も出ず、たばこの煙のにおいもなく、副流煙(使っていないときに、先端から立ち上る煙)も出ません。さらに、口から吐き出されたたばこベイパー(蒸気)も、紙巻たばこの煙より素早く消えます。IQOSは紙巻たばこと比べて、周りの空気に与える影響が少なくなります。

※たばこベイパーとは、たばこ葉を加熱した際に発生する蒸気で、主な成分は水・グリセリン・ニコチンとなっています。



火を使わない　灰が出ない　煙のにおいがない　屋内の空気環境に悪影響を与えない

IQOSの特長

名称の由来

現代的なテクノロジーを想起させるような響きとして考え出されました。
「IQOS(アイコス)」という短い語数のネーミングによって、人々の覚えやすさ、また言語を問わない発音のしやすさの実現を狙いました。

IQOS販売国

現在スイス、イタリア、ルーマニア、トルコ、韓国、ポルトガル、ドイツ、デンマーク、モナコ、オランダ、ギリシャ、スペイン、イギリス等でも販売しています(一部の国では主要都市にて展開)。

お客様の声 ※原文ママ表記

ニオイが、ほとんど気にならなくなった

今まで車の中で窓をかなり開けたりしながら吸っていたのですがそれでも煙やニオイはかなり気になっていました。でも、IQOSを使うようになってからは少し窓を開けておくだけでほとんど気にならなくなりました。(女性 40代)

『臭くない』と、パートナーが側に来てくれるように

これまでの煙草が周囲にも自分にも不快な臭いを残していた事をIQOSに変えた事で実感しました。何よりもパートナーがたばこを吸った直後でも、臭くないとすぐ側に来てくれるようになったのが嬉しいです。(男性 40代)

火の不始末の心配がない。部屋の空気もよくなった

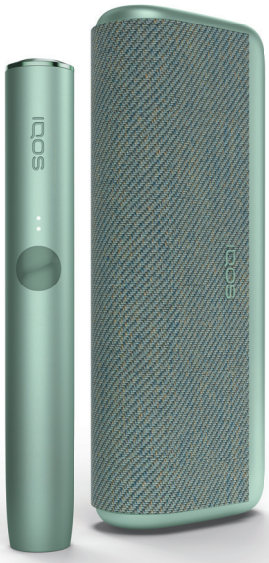
やはり火を使わないというのは大きいですね。(特にこの季節は) 煙草の火を消したかどうか心配しなくていいですから。カーペットや服に焼け焦げを作る事も有りませんし。煙草独特の臭いが無いので部屋の空気がよくなった気がします。たまに友人が遊びに来て普通の煙草を吸っていくと「自分はこんな臭いのキツい部屋でずっと過ごしていたんだ。」と思います。(男性 40代)

においと汚れが、改善された

以前のたばこを吸うと、髪の毛や衣服、部屋のクロスや家具にべったりヤニがつき、長年蓄積された臭いと汚れに悩まされていましたが、IQOSに代えてかなり改善されました。直後でない限り臭いも残っていないし、他人に迷惑をかけるのが少なくなったように思います。(男性 60代)

IQOSにはスマートコア・インダクション・システム®搭載によりブレードがない構造のデバイス「IQOS イルマ」シリーズ※と、従来のブレードがある構造の「IQOS」シリーズの2種類があります。

※IQOS イルマ専用たばこスティックには飲み込むと大ケガにつながりかねない尖った金属片が含まれているため、
飲み込んだり分解したりせず、お子様の手の届かない所で管理してください。



IQOS ILUMA（イルマ）

新たに加わったスマートコア・インダクション・システム®搭載タイプ。IQOS イルマ専用たばこスティックに内蔵された誘熱体により、内側からたばこ葉を加熱するため、使用後のクリーニングが不要に。さらに内側から直接たばこ葉を加熱することで、ふくよかな たばこベイパー（蒸気）と、しっかりした吸いごたえが実現しました。

Powered by:
SMARTCORE
INDUCTION SYSTEM®
スマートコア・インダクション・システム® 搭載

IQOS 3 販売終了

従来のブレードがあるデバイス。2本連続使用ができるようになった「IQOS 3 DUO」に加え、待ち時間ゼロで10本連続使用と50gの最軽量を実現した「IQOS 3 MULTI」の2種類があり、より一層選択肢が広がりました。

※ブレード型IQOS専用たばこスティック「マールボロ」および「ヒーツ」については販売を段階的に終了し、2024 年 1 月を目途に、すべてのブレード型IQOS専用たばこスティックの在庫がなくなり次第、終了させていただきます。



IQOS イルマから新たに搭載されたスマートコア・インダクション・システム®は、IQOS イルマとスマートコアスティック®の2つの組み合わせで新しいたばこ体験を提供します。いずれもIQOS イルマ専用に設計されたもので、クリーニングも不要です。



スマートコアスティック®の構造

先端をフロントシールで密閉することで残りかすの落下を防ぎ、使用後のホルダーを清潔に。ステンレスでコーティングされた金属製の誘熱体によって、ブレードがなくても内側からの加熱が可能に。さらに、特別にブレンドした葉と、TEREA（テリア）およびSENTIA（センティア）スティックに搭載されたエアフローチャンバーによって、たばこ本来の旨みを逃すことなく、ふくよかなたばこベイパー（蒸気）を実現しました。

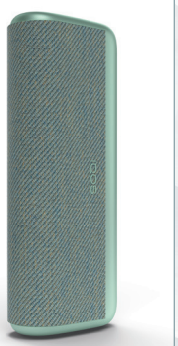
※スマートコアスティック®には飲み込むと大ケガにつながりかねない尖った金属片が含まれているため、飲み込んだり分解したりせず、お子様の手の届かない所で管理してください。詳しくはjp.iqos.comをご覧ください。

スマートコア・インダクション・システム®

専用のたばこスティックに内蔵された誘熱体が、たばこ葉を内側から直接加熱します。新型のIQOS イルマ専用として設計されたブレードが無いデバイスのための新しい加熱技術です。

IQOS イルマポケットチャージャー

IQOS イルマの充電には、携帯性に優れ手に馴染むデザインのポケットチャージャーを使用。充電サイクルは20回ごと、135分でフル充電が可能です。本体にプレミアムなアルミニウムを採用したIQOS イルマ プライムと、慣れ親しんだIQOS 3 DUOの形状を継承したIQOS イルマを用意しています。



IQOS イルマ プライム



IQOS イルマ

IQOS イルマ専用たばこ TEREA（テリア）／SENTIA（センティア）

IQOS イルマ専用たばこ「テリア」および「センティア」は、たばこ葉を使用しています。財務省管轄のたばこ事業法の「製造たばこ」であり、たばこ税法上「加熱式たばこ」として認可されています。

従来の紙巻たばことは全く異なる製品で、厳選された最高品質のたばこ葉を使用し、特別製法によるブレンドと圧縮が施されたIQOS イルマ専用のたばこです。現在、「テリア」ブランドより全19銘柄、「センティア」ブランドより全13銘柄を提供しています。

※2023年4月時点

IQOS イルマ製品概要 ※2023年4月時点　以下はすべてメーカー希望小売価格

- **製品名・価格**　IQOS ILUMA PRIME（イルマ プライム）／9,980円（税込）
  IQOS ILUMA（イルマ）／6,980円（税込）
  IQOS ILUMA ONE（イルマ ワン）／3,980円（税込）
- **キット内容**　IQOSホルダー、IQOSポケットチャージャー、専用ACアダプター、専用USBケーブル、ユーザーガイド
- **色**
  - イルマ プライム：ジェイドグリーン、ゴールドカーキ、オブシディアンブラック、ブロンズトープ（計4色）
  - イルマ：モスグリーン、ペブルベージュ、ペブルグレー、アズールブルー、サンセットレッド（計5色）
  - イルマ ワン：ペブルベージュ、ペブルグレー、モスグリーン、アズールブルー、サンセットレッド（計5色）
- **安全性**　EUの一般電化製品の安全性に関する要件を満たしていることを示すCEマークを取得しています。
- **耐久性**　ユーザーガイドに基づいた使用で、1年間は継続的に性能を発揮できるよう設計されています。

IQOS イルマの使い方 ※IQOS イルマ プライムおよびIQOS イルマ

1 ポケットチャージャーの充電



初めて使用する際には、デバイスを専用チャージングケーブルとパワーアダプターに繋いでフル充電してください。（フル充電には約135分間かかります。IQOS イルマも同様に充電してください。）

2 スマートコアスティック®の挿入



フィルター上に印刷された線まで、スマートコアスティック®をホルダーに挿入します。ホルダーが振動してライトが点滅するとオートスタート（自動的に加熱開始）の合図です。または、ボタンを最短でも1秒間長押しすると加熱が始まります。

3 使用開始



ホルダーが振動しライトが点灯すると、ご使用いただけます。

4 終了前の通知



残り30秒間または残り2口になると、ホルダーが振動し、白いライトが点滅します。

5 スマートコアスティック®の取り出し



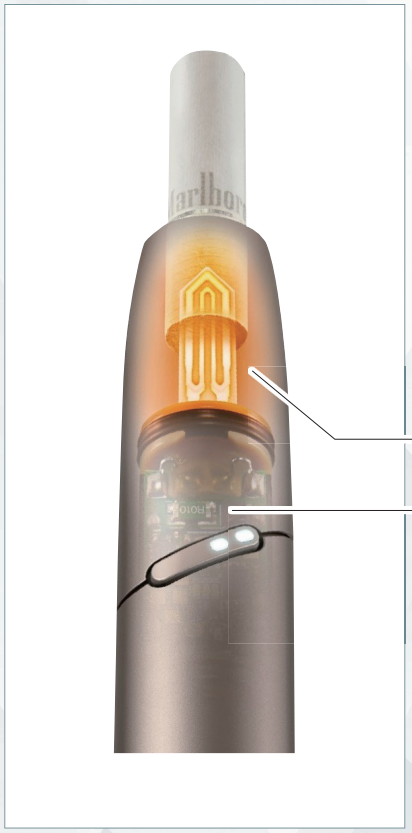
使用済みのスマートコアスティック®を取り出します。スティックの使用回数が残っている際に取り出した場合は加熱が停止します。

続けて使用する場合は、2に戻る。2本使い終わった後は1に戻り、ホルダーを充電する。

※「オートスタート」や「ダブルタップ」（スマートジェスチャー）機能が失われても、製品自体の性能には影響を及ぼしません。（保証対象外）

IQOSの概要 IQOS 3 DUO

IQOS 3 DUOは「IQOSホルダー」と「IQOSポケットチャージャー」で構成されています。スイスで開発され、世界各国から届く高品質のパーツを使ってマレーシアで組み立てられています（IQOS 3 MULTIは除く）。IQOS専用たばこスティックは海外の工場で製造されています。



IQOSホルダーの構造

IQOS専用に開発されたたばこ「IQOS専用たばこスティック」をIQOSホルダーに挿しこみ、ホルダー内の加熱ブレードによって燃やさず加熱します。たばこ葉の温度は300度以下です※。

温度を正確に制御するマイクロチップによって、ユーザーガイドに記載されている通常使用時にはどのように使用しても燃焼に至らないように設定されています。

※ 参考　通常の紙巻たばこの燃焼温度は、800度以上

加熱ブレード	金とプラチナを採用し、セラミックでコーティング。ブレードを常に適温にコントロールすることで、火を使わず、たばこを緩やかに加熱します。
マイクロチップ	たばこの味わいを引き出す最適加温に加熱ブレードをコントロールするソフトウェアです。



IQOSポケットチャージャー

手触りのよい流麗なデザインを持つ、携帯性に優れたIQOSポケットチャージャー。約90分でフル充電し、1回の充電でIQOSホルダーを約20回（IQOS専用たばこスティック1箱分）使用することが可能です。

IQOS専用たばこスティック

IQOS専用たばこスティックは、たばこ葉を使用しています。財務省管轄のたばこ事業法の「製造たばこ」であり、たばこ税法上「加熱式たばこ」として認可されています。

従来の紙巻たばことは全く異なる製品で、厳選された最高品質のたばこ葉を使用し、特別製法によるブレンドと圧縮が施されたブレード型IQOS専用のたばこです。「マールボロ」ブランドより12銘柄、「ヒーツ」ブランドより11銘柄を提供しておりますが、2024年1月を目途に在庫がなくなり次第、終了させていただきます。

IQOS 3 DUO 製品概要 ※販売終了

- **製品名** IQOS 3 DUOキット
- **価格** 6,980円（税込）（メーカー希望小売価格）
- **キット内容** IQOSホルダー、IQOSポケットチャージャー、専用ACアダプター、専用USBケーブル、専用クリーナーブラシ、ユーザーガイド
- **色** フロステッドレッド、ブリリアントゴールド、ウォームホワイト、ステラーブルー、ベルベットグレー（計5色）
- **安全性** EUの一般電化製品の安全性に関する要件を満たしていることを示すCEマークを取得しています。
- **耐久性** ユーザーガイドに基づいた使用で、1年間は継続的に性能を発揮できるよう設計されています。

IQOSの使い方

1 ホルダーを充電する



ドア下部を押してドアを開いてください。ホルダーを装填し、ドアを閉じると充電を開始します。
●ホルダーステータスライトが白色に点灯したら充電完了。

2 たばこスティックを入れる



IQOS専用たばこスティックをフィルターに印刷された線までねじらずまっすぐ入れる。

3 加熱する



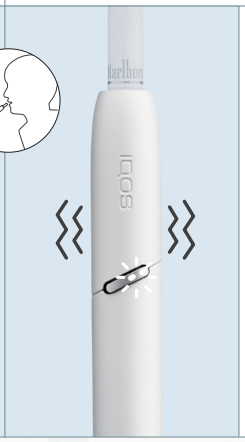
ホルダーが振動しライトが白色に点滅するまで、ホルダーボタンを長押し。

4 準備OK！

ホルダーが2回振動し、ライトが白色の点灯に変わると準備OK。

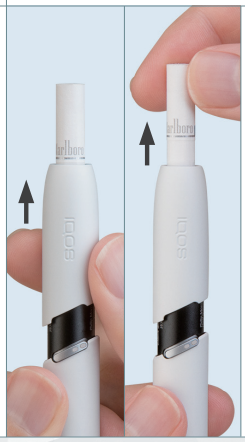


5 終了前のお知らせ



残り30秒になると、ホルダーが2回振動し、ライトが白色に点滅。

6 たばこスティックの取り出し



ライトが消えたら、キャップを上方向にスライドし、IQOS専用たばこスティックをねじらずまっすぐ取り出します。

続けて使用する場合は、2に戻る。2本使い終わった後は1に戻り、ホルダーを充電する。

たばこ製品との違い

紙巻たばことの違い

	IQOS	紙巻たばこ
燃焼	加熱	燃焼
副流煙 （使わないときに出る煙）	出ない	出る
ニコチン	含む	含む
灰	出ない	出る
におい	少ない	ある
吸い口	紙フィルターを使用	紙フィルターを使用
たばこ葉使用	使用	使用
たばこの味わい	たばこの味がある	たばこの味がある

加熱式たばこと電子たばこの違い

加熱式たばこ「IQOS」は、電子たばこではありません。

加熱式たばこ

- **IQOS専用たばこスティックはたばこ葉を使用しているので、財務省管轄のたばこ事業法の「製造たばこ」です。**
- **たばこ葉を電気で加熱して、ニコチンを含むたばこベイパー（蒸気）を発生させます。**

電子たばこ

- **たばこ葉を使用せず、フレーバーの入ったリキッドと呼ばれる溶液を電気で加熱し、発生する蒸気を吸いこむ製品です。**
- **たばこ葉が使われていないので、たばこ事業法の「製造たばこ」ではありません。**
- **日本で販売されている電子たばこは、ニコチンを含みません※。**

※ ニコチンを含む電子たばこは、厚生労働省管轄の旧薬事法に基づく承認（有効性や安全性などの確認）が必要ですが、これまで国内で承認された製品はありません。

加熱式たばこ「IQOS」は禁煙のための製品ですか？

加熱式たばこ「IQOS」は禁煙補助製品ではありません。

周囲の方々に気遣いながらクリーンな形でたばこを楽しみたいという20歳以上の喫煙者向けの、紙巻たばこの代替となる製品です。

製品ラインアップ

IQOSデバイス ※2023年4月時点　以下はすべてメーカー希望小売価格

IQOS ILUMA PRIME
（イルマ プライム）

¥9,980（税込）



IQOS イルマのフラッグシップモデル。
デザインにこだわり抜き、
かつてない上質感を実現。

IQOS ILUMA
（イルマ）

¥6,980（税込）



IQOS イルマの
スタンダードモデル。

IQOS ILUMA ONE
（イルマ ワン）

¥3,980（税込）



IQOS イルマのコンパクトモデル。
オールインワン型で持ち運びにも便利。

IQOS 3 DUO

¥6,980（税込） 販売終了



2本連続で使用できる、
IQOSモデル。

IQOS 3 MULTI

¥4,980（税込） 販売終了



待ち時間ゼロで10本連続使用できる、
最軽量50gのオールインワン型。

※ブレード型IQOS専用たばこスティック「マールボロ」および「ヒーツ」については販売を段階的に終了し、2024 年 1 月を目途に、すべてのブレード型IQOS専用たばこスティックの在庫がなくなり次第、終了させていただきます。

製品ラインアップ

スマートコアスティック® （IQOS イルマ専用）※2023年4月時点

TEREA（テリア）19銘柄

レギュラー


リッチ・レギュラー


レギュラー


スムース・レギュラー


バランスド・レギュラー


ボールド・レギュラー


ウォーム・レギュラー

フレーバー系レギュラー


ルビー・レギュラー

メンソール


ブラック・メンソール


メンソール


ミント

フレーバー系メンソール


ブラック・パープル・メンソール


パープル・メンソール


フュージョン・メンソール


オアシス・パール
フレーバーカプセル入り


サン・パール
フレーバーカプセル入り


ブラック・イエロー・メンソール


イエロー・メンソール


トロピカル・メンソール


ブライト・メンソール

SENTIA（センティア）13銘柄

レギュラー


ディープ・ブロンズ


クリア・シルバー


ピュア・ティーク


バランスド・イエロー


スムース・ゴールド

メンソール


アイシー・ブラック


フロスト・グリーン


クール・ジェイド


フレッシュ・エメラルド

フレーバー系メンソール

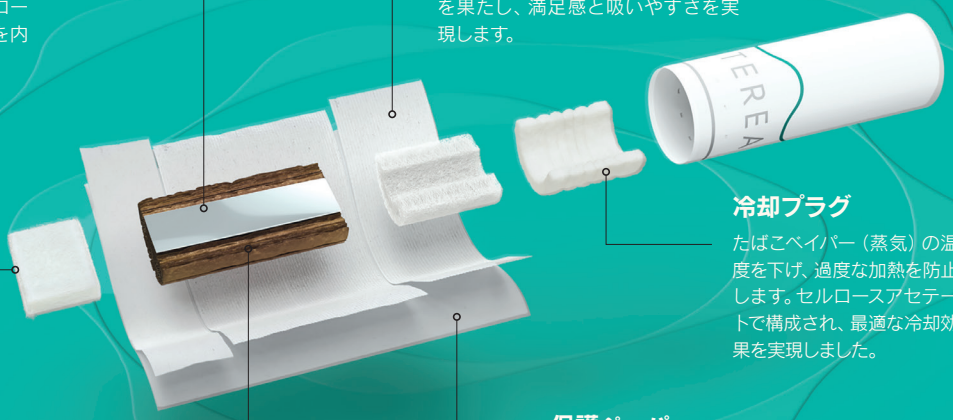

アイシー・パープル


フレッシュ・パープル


シトラス・グリーン


トロピカル・イエロー

新構造、スマートコアスティック®



誘熱体

ホルダーからたばこへの無駄のない熱伝導を可能にするために、たばこスティックの内側にステンレスでコーティングされた金属製の誘熱体を内蔵しています。

エアーフローチャンバー

適度な量のたばこベイパー（蒸気）がたばこスティック内を通過する機能を果たし、満足感と吸いやすさを実現します。

冷却プラグ

たばこベイパー（蒸気）の温度を下げ、過度な加熱を防止します。セルロースアセテートで構成され、最適な冷却効果を実現しました。

フロントシール

スマートコアスティック®の先端はフロントシールで密閉。この構造により、たばこの残りかすが落ちることを防ぎ、使用後のホルダーもいつでも清潔に保つことができます。

たばこ部分

厳選されたたばこ葉を丁寧に挽き、特別にブレンドしました。煙の出ない加熱式たばこ体験をお届けします。

保護ペーパー

新開発の保護ペーパーは、使用後の匂いを軽減し、よりクリーンで快適なたばこ体験を実現します。

製品ラインアップ

ヒートスティック (IQOS 3 DUO / IQOS 3 MULTI)

※ブレード型IQOS専用たばこスティックについては販売を段階的に終了し、
2024年1月を目途に、すべてのブレード型IQOS専用たばこスティックの在庫がなくなり次第、終了させていただきます。

マールボロ 12銘柄

レギュラー



リッチ レギュラー



レギュラー



スムース レギュラー



バランスド レギュラー

メンソール



ブラック メンソール



メンソール



ミント

フレーバー系メンソール



パープル メンソール



フュージョン メンソール



イエロー メンソール



トロピカル メンソール



ブライト メンソール

ヒーツ 11銘柄

レギュラー



ディープ ブロンズ



ピュア ティーク



バランスド イエロー



クリア シルバー

メンソール



アイシー ブラック



フロスト グリーン



クール ジェイド



フレッシュ エメラルド

フレーバー系メンソール



フレッシュ パープル



シトラス グリーン



トロピカル イエロー

IQOSの販売場所・サポート

販売場所

IQOSとIQOS専用たばこスティックは、現在、以下の場所で販売しています。

- IQOSオンラインストア
- 全国8店舗のIQOSストア
- 全国のIQOSショップ（ヤマダ電機一部店舗）
- 全国のIQOSコーナー（ドン・キホーテ一部店舗）
- （在庫状況に応じて）順次選定されるたばこ取扱店
- コンビニエンスストア

※2023年4月時点

IQOSストア

20歳以上の喫煙者の方々にIQOSという製品が持つ魅力を充分にご理解いただくべく、旗艦店「IQOSストア」を全国6都道府県で8店舗展開しています。
IQOSキットやIQOS専用たばこスティックの販売はもちろん、IQOSを体験できる専用ラウンジや、IQOSを楽しみながら理解いただけるコンテンツを用意。一部店舗では、会員登録をしていただいた20歳以上の喫煙者向けのプレミア・ラウンジも設置しています。さらに、IQOSのメンテナンスや修理故障にも対応しています。



IQOSストア 札幌

IQOSストア一覧

IQOSストア 銀座
東京都中央区銀座2-4-18
TEL:03-3538-5785
オープン：2017年3月3日

IQOSストア 札幌
北海道札幌市中央区北1条西3-3
敷島北一条ビル1階、2階
TEL：011-223-2737
オープン：2020年12月18日

IQOSストア 原宿
東京都渋谷区神宮前1-13-18
TEL. 03-5413-7100
オープン：2015年11月16日

IQOSストア 名古屋
愛知県名古屋市中村区名駅1-2-4
名鉄百貨店本店メンズ 館1階
TEL. 052-589-3156
オープン：2014年11月4日

IQOSストア 梅田
大阪府大阪市北区茶屋町15-31
TEL. 06-6377-5015
オープン：2015年12月17日

IQOSストア 心斎橋
大阪府大阪市中央区西心斎橋2-2-3
TEL. 06-6212-5800
オープン：2021年8月18日

IQOSストア 広島
広島県広島市中区本通8-33
TEL. 082-541-5808
オープン：2021年8月18日

IQOSストア 福岡
福岡県福岡市中央区大名2-1-10
TEL. 092-718-2727
オープン：2016年4月25日

電話やチャット・メールでもIQOSユーザーをサポート

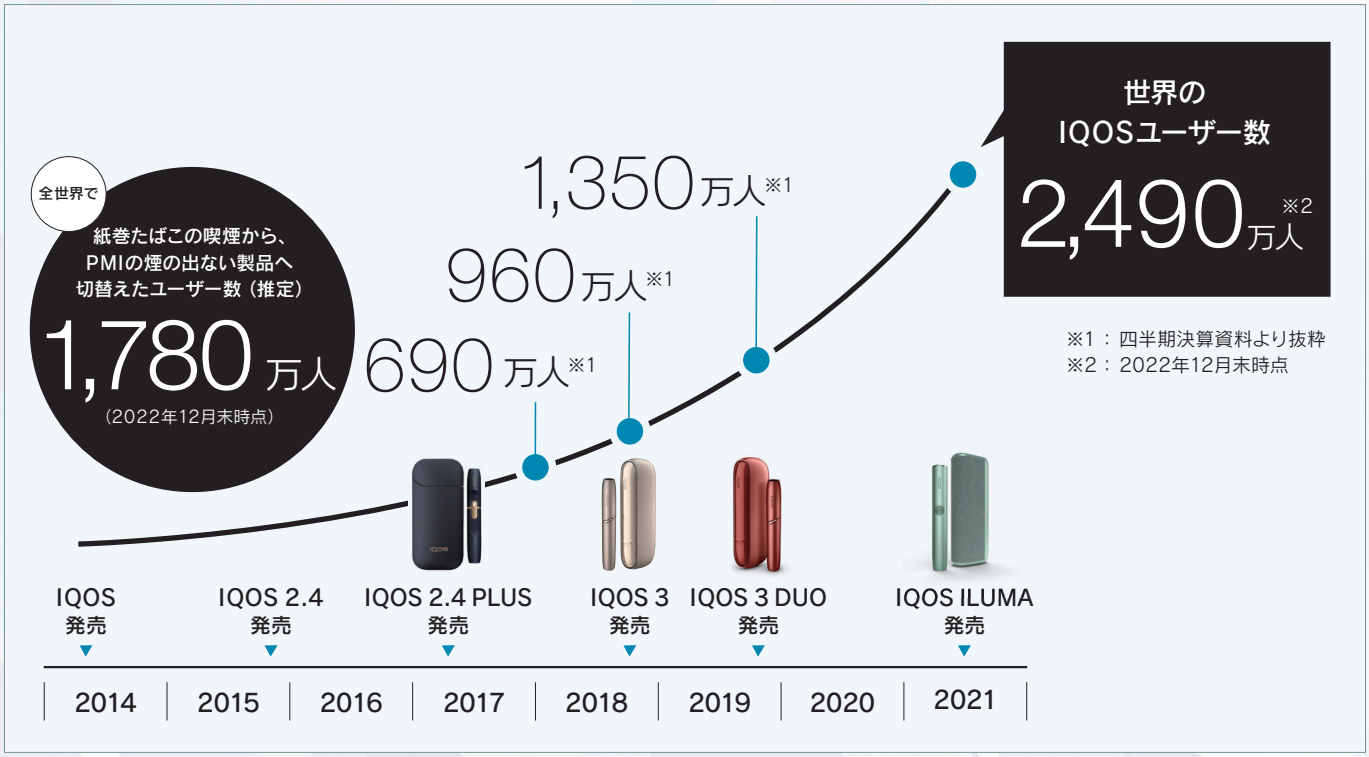
アフターサポートは、お電話・チャット・メールにてお問合せ対応をしております。

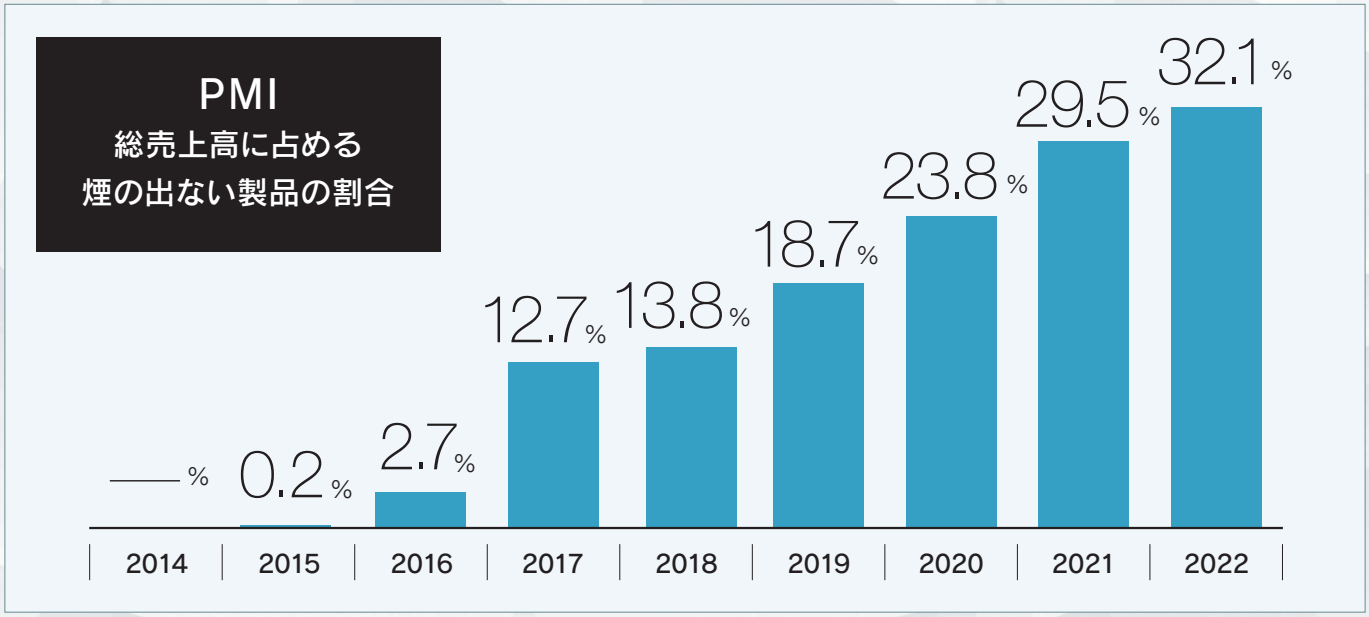
- IQOSサポートページURL ：https://jp.iqos.com/support
- IQOSカスタマーセンター：フリーダイヤル 0120-190517（営業時間 9:00~21:00）

IQOSの販売状況

世界のIQOSユーザー数は2,490万人を突破

世界のIQOSユーザー数は順調に拡大し、2022年12月末時点で2,490万人に到達。全世界で1,780万人の成人喫煙者が喫煙をやめ、加熱式たばこに切替えたと推定しています。また、煙の出ない製品のPMI総売上高に占める割合は年々増加し、約30%を超えています。 ※2022年12月末時点





KT&G製の煙の出ない加熱式たばこ機器 lil HYBRID™（リル ハイブリッド™）の全国販売を開始

PMJは、2020年1月に締結・発表したPMIと韓国の大手たばこ企業KT&G間のグローバルな協働に関する合意にともない、2020年10月26日よりKT&G製品の日本における販売を宮城県ならびに福岡県で開始しました。2021年2月15日から販売エリアを全国に拡大しています。

KT&G製のlil HYBRID™（リル ハイブリッド™）は、専用たばこスティックとリキッドを組み合わせて使う、新しいテクノロジーを搭載した煙の出ない加熱式たばこデバイスです。

今回のKT&Gとの協働と対象製品の日本市場への導入は、企業ビジョンである「煙のない社会」を実現するためにこれまでPMIが加熱式たばこ製品ポートフォリオにおいて推進してきた拡大と多様化戦略に沿うものです。

デバイス lil HYBRID™（リル ハイブリッド™）



- 色　：コバルト・ブルー、マット・ブラック、メタリック・ブロンズ、プリズム・ホワイトの4種
- 価格：3,980円（メーカー希望小売価格）
- 重量：95g（カートリッジ除く）
- 特長：
  - **オートスタート**：たばこスティックを挿しこむと自動的に加熱がスタート
  - **クリーニング不要**：定期的なお手入れは不要、クリーニング無しで楽しめる
  - **ディスプレイ**：使える回数やリキッド残量などを表示
  - **連続使用**：フル充電で20本、一度に3本まで連続使用可能

製品仕様（20本入り専用たばこスティックおよびリキッドカートリッジ）



MIIX レギュラー



MIIX アイス



MIIX ミックス



MIIX アイス プラス



リキッドカートリッジ

6

取材対象者のご紹介

シェリー・ゴー	／フィリップ モリス ジャパン 社長
ポール・ライリー	／フィリップ モリス インターナショナル 東アジア&オーストラリア、デューティーフリー・リージョン担当社長
小林 献一	／フィリップ モリス ジャパン　副社長／エクスターナル・アフェアーズ・ディレクター
飯田 朋子	／フィリップ モリス インターナショナル　ディレクター（科学渉外アジア・中東・アフリカ担当）

シェリー・ゴー Shea Lih Goh

■ フィリップ モリス ジャパン　社長



2018年１月　フィリップ モリス ジャパン合同会社 社長
2016年10月　フィリップ モリス アジア リミテッド（香港）
バイスプレジデント リデュースドリスク・プロダクツ アジア
2013年５月　フィリップ モリス（マレーシア）Sdn Bhd
マネージング・ディレクター マレーシア＆シンガポール
2008年１月　PT HM サンプルナ TBK.（インドネシア）※
ディレクター マーケティング
2006年４月　フィリップ モリス 台湾 S.A.　ゼネラル・マネジャー
2004年12月　フィリップ モリス（中国）マネジメントCo.
リミテッド ディレクターセールス＆マーケティング
2003年６月　フィリップ モリス（中国）マネジメントCo.
リミテッド ディレクター マーケティング
2002年12月　フィリップ モリス アジア リミテッド（香港）
マネジャー トレード・マーケティング
2001年３月　ゴッドフレイ フィリップス（マレーシア）Sdn Bhd※
マーケティング・マネジャー
1993年２月　ゴッドフレイ フィリップス（マレーシア）Sdn Bhd※　入社

※ フィリップ モリス インターナショナル子会社

ポール・ライリー Paul Riley

■ フィリップ モリス インターナショナル 東アジア＆オーストラリア、デューティーフリー・リージョン担当社長



2023年2月　フィリップ モリス インターナショナル 東アジア＆オーストラリア、
デューティーフリー・リージョン担当社長
2018年1月　フィリップ モリス インターナショナル
東アジア＆オーストラリア・リージョン担当社長
2015年9月　フィリップ モリス ジャパン株式会社 代表取締役社長
2013年　フィリップ モリス フォーチュン タバコ コーポレーション（フィリピン）
プレジデント
2012年　フィリップ モリス インターナショナル
マネージング・ディレクター セルビア＆セントラル・ヨーロッパ・サウス
2010年　フィリップ モリス インターナショナル
マネージング・ディレクター セルビア＆モンテネグロ
2006年　フィリップ モリス ジャパン株式会社 セールス・ディレクター
2004年　フィリップ モリス（タイ）リミテッド ジェネラル・マネジャー
2003年　フィリップ モリス アジア リミテッド（香港）
ディレクター・セールス・ストラテジー
1988年　フィリップ モリス リミテッド（オーストラリア）入社

小林 献一 Kenichi Kobayashi

■ フィリップ モリス ジャパン 副社長
エクスターナル・アフェアーズ・ディレクター



2021年4月　フィリップ モリス ジャパン合同会社　副社長
2017年4月　Apple Japan合同会社 政務部 ディレクター
2012年4月　Apple Japan合同会社 政務部 シニアマネージャー
2010年6月　三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
国際研究部研究員
2005年9月　経済産業省 通商機構部参事官補佐
2002年4月　株式会社UFJ総合研究所 新戦略部研究員
1998年4月　財団法人松下政経塾

飯田 朋子 Tomoko Iida

■ フィリップ モリス インターナショナル
ディレクター（科学渉外アジア・中東・アフリカ担当）



2023年2月　フィリップ モリス インターナショナル　ディレクター
（科学渉外アジア・中東・アフリカ担当）
2019年７月　フィリップ モリス インターナショナル　ディレクター（科学渉外アジア担当）
2017年９月　フィリップ モリス ジャパン　ディレクター（科学渉外日本担当）
2013年１月　フィリップ モリス ジャパン
渉外部（エクスターナル・アフェアーズ）・マネジャー
2012年７月　フィリップ モリス ジャパン　マーケティング・マネジャー
2011年７月　フィリップ モリス ギリシャ　ジュニア・マーケティング・マネジャー
2010年10月　フィリップ モリス ジャパン　入社

報道関係者向けお問い合わせ先

フィリップ モリス ジャパン PR 事務局

（(株)電通 PR コンサルティング内）

•

井藤　MAIL: naonobu.ito@dentsuprc.co.jp
阪口　MAIL: tomoko.sakaguchi@dentsuprc.co.jp
柏木　MAIL: masahiko.kashiwagi@dentsuprc.co.jp

※本資料に記載の内容は、2023年4月時点のものです。